

VIII 文化財保護

1 有形文化財

(1) 建造物

①大宜味村役場旧庁舎 建造物保存修理（耐震診断）事業（大宜味村）

事業目的：重要文化財 大宜味村役場旧庁舎保存修理に向けた耐震診断事業

	令和5年度実績額（千円）	令和6年度実績額（千円）
所有者負担（村所有）	896	—
県補助額	326	—
国庫補助額	4,889	—
合計	6,111	—

②建造物琉球漆喰・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術（伝承）団体事業

事業目的：建造物塗装や赤瓦製造、瓦葺き技術の伝承者養成事業及び研修事業

	令和5年度実績額（千円）	令和6年度実績額（千円）
実施団体負担額	100	100
県補助額	—	—
国庫補助額	8,552	8,552
合計	8,652	8,652

③重伝建 渡名喜村渡名喜島 伝統的建造物群基盤強化事業（渡名喜村）

事業目的：渡名喜島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

	令和5年度実績額（千円）	令和6年度実績額（千円）
所有者負担額	—	—
村補助額	658	—
県補助額	218	—
国庫補助額	3,503	—
合計	4,379	—

④重伝建 竹富町竹富島 伝統的建造物群基盤強化事業（竹富町）

事業目的：竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

	令和5年度実績額（千円）	令和6年度実績額（千円）
所有者負担額	—	—
町補助額	4,119	—
県補助額	684	—
国庫補助額	10,957	—
合計	15,760	—

⑤重要文化財 旧与那国家住宅保存修理事業（竹富町）

事業目的：旧与那国家住宅の主屋・畜舎の保存修理

	令和5年度実績額（千円）	令和6年度実績額（千円）
所有者負担額	—	—
町補助額	—	5,180
県補助額	—	1,339
国庫補助額	—	26,077
合計	—	32,596

⑥県指定文化財 新盛家住宅保存修理事業（竹富町）

事業目的：竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

	令和5年度実績額（千円）	令和6年度実績額（千円）
所有者負担額	—	—
町補助額	4,119	—
県補助額	684	—
国庫補助額	10,957	—
合計	15,760	—

(2)美術工芸

①琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：22,089千円（国 17,671千円、県1,169千円、市 3,249千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：令和6年4月23日～令和7年3月24日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈された文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、15年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、修理作業に着手しているが、公開・活用に支障をきたす史料を優先して、繕い等の作業を中心に修理を行っている。

令和6年度は、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書・記録類18冊の修理を行った。

実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装潢師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

②琉球芸術調査写真<鎌倉芳太郎撮影/>美術工芸品保存修理事業

事業総額：5,271千円（国 4,217千円、事業者 1,054千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：公立大学法人沖縄県立芸術大学

修復期間：令和6年4月7日～令和7年3月12日

修復目的：重要文化財「琉球芸術調査写真<鎌倉芳太郎撮影/>」のうち「一つ書一、ガラス原板」の資料は、沖縄の戦前の遺跡、建築、彫刻、絵画、工芸品などを撮影した1,268点の写真原版のことである。

今回、修理を行うガラス原板の被写体は、琉球王家ゆかりの文化財、首里、那覇の名家所蔵の絵画や工芸品、首里城や寺院といった建築物など、そのほとんどが戦争で消失したため、現在では本資料でのみ見ることができるものもあり、沖縄の文化、民俗、建築、歴史、祭祀等を知る貴重な資料である。

当該ガラス原板は撮影されてから100年近くが経ち、汚損や割れ、有害ガスやカビ等による劣化が進行していることから、公開・保存の観点からも緊急な修理を行う。

事業概要：本事業では、損傷の著しい資料を中心に修理やカビ等のクリーニング等を行う。

実施体制：修理手法策定および保存方法検討等においては専門家による修理検討委員会を設置し、会の指針に従い作業を行う。記録調査、汚れ除去、テープ除去、保存用具作製等の保存修理を実施する。

作業には、国の選定保存技術保存団体（装潢修理技術）の認定技術者が従事する。

③中山世鑑 蔡鐸本中山世譜 蔡溫本中山世譜 美術工芸品保存修理事業

事業総額：3,776千円（国 3,021千円、県 755千円）

事業種別：国庫補助事業（県直営）

事業主体：沖縄県

修復期間：令和6年5月13日～令和7年1月10日

修復目的：令和2年に国の重要文化財に指定された「中山世鑑 蔡鐸本中山世譜 蔡溫本中山世譜」（3種類合計25冊）を文化庁の補助事業を活用して修理し、適切な保存管理を図り、将来的な保存及び公開活用等によって県の文化振興に寄与することを目的とする。

事業概要：本資料には、経年による染み、汚れ、カビ、虫損による欠失や過去の修理で施された虫損箇所の補修が見受けられる。修理作業では本紙の汚れ除去、欠失部分の補修を施して長期保存を図る。

実施体制：文化庁の保存修理方針及び文化財調査官（歴史資料部門）の監督・指導の下、古文書や日本画の修復・修繕に多くの実績を有している、石川堂に修理業務を委託し修復及び調査・記録・報告書の作成を行った。

④黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠修理

事業総額：2,323千円（県 929千円、事業者1,394千円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：一般財団法人沖縄美ら島財団

修復期間：令和6年6月18日～令和7年3月10日

修復目的：黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠とは、久米島に伝来する最古の琉球漆器とデザインや技術が類似しており、製作年代が16～17世紀の作品として推定できることから琉球漆器の初期の沈金技術の技法を知る重要な作品であり、平成18年に県指定有形文化財に指定された。令和元年の首里城火災により被災し、表面を覆っている漆が急速に劣化し、表面に無数のひび割れが起こっており、早急に修理する必要がある。修理後には公開を予定しており、文化財愛護について普及効果が期待され、琉球漆器の技術の移り変わりを証明する貴重な漆器を後世に伝えることが出来る。

事業概要：〈修理前写真撮影〉修理前の資料の状態を記録した。

〈薄葉紙剥がし〉上段に付着した薄葉紙を剥がし、その際に剥離した塗膜の仮止めを行った。

〈塗膜押え〉上段の塗膜下に薄い膠液や麦漆を含浸し押えを行った。

実施体制：火災によって損傷を受けた文化財の修理事例が極めて少ないと、首里城での被害調査から協力し、琉球漆器の修復・修繕に多くの実績を有している琉球漆工藝舎での修理を実施する。

(3)銃砲刀剣類の登録

①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

* 沖縄県教育委員会委嘱(令和6年11月10日から令和8年11月9日)
大嶺 信義(刀剣研究家)、上原 正人(刀剣研究家)、兼濱 昇(刀工)

②登録審査会

【登録審査会（新規登録及び現物確認審査）】

日 時: 第1回 令和6年12月20日（金）9:30～16:30

沖縄県立埋蔵文化財センター（2階 会議室・研修室）

審査件数: 第1回 17件（内訳：刀7、脇差し5、短刀5）

登録証交付件数: 第1回（新規登録：14件）

③新規登録申請件数及び登録件数

区分	種別	申請件数	登録件数	備考
刀 剣	た ち	0	0	
	刀	7	6	
	わ き ざ し	5	4	
	短 刀	5	4	
	や り	0	0	
	な ぎ な た	0	0	
古式銃砲	火 繩 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		17	14	

④証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備考
審査手数料(新規登録)	14	6,300円/件	88,200円	
審査手数料(再交付)	0	3,500円/件	0円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計	14		88,200円	

⑤登録を受けた銃砲刀剣類の譲り受け・貸付け・登録証再交付などの届出件数

種別	銃砲類	刀剣類	計
譲り受け	0	10	10
相続	0	0	0
貸付け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
登録証再交付	0	0	0
合 計	0	10	10

2. 無形文化財

(1) 芸 能（伝承者養成事業）

① 重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：12,254千円（国8,825千円、県113千円、保存会3,316千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：玉城秀子）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

研修会：期日、内容等は下記のとおり。

研修趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊について、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを目指す。

内容：古典女踊「柳」と二才踊「上り口説」について、系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表する。発表会を2日間開催。

琉球舞踊の古典七踊の研修

ア 系統の整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記のとおり。※下線部は物故者

玉城盛重

①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉靜枝
②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子
③親泊興照：二代目親泊興照
④宮城能造：宮城能鳳
⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子
⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩

⑦比嘉清子：大城政子
⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記のとおり。

新垣松含

⑨比嘉澄子 比嘉早苗

渡嘉敷守良

⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 二代目渡嘉敷守良

読谷山親雲上

⑪金武良章 安座間澄子 安座間明美

川平親雲上

⑫阿波連本啓 阿波連蘭子

屋我良勝

⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝

※宮城能造：二代目宮城能造

田代タカ子：宮城美能留：宮城早苗・園美

玉城盛義：宇根伸三郎 ※波線は令和4年10月31日3次保持者認定

イ 研修方法

古典七踊りについては、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8（上記の①～⑧）グループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。

実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（42名）と、一般研修生（240名）にわける。

選抜研修生には選抜研修および11月の成果発表会への出演を課す。選抜研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拝えあり。

その他の一般研修は、9月の技能発表会にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拝えなし）。

ウ 課題演目

令和6年度は、古典舞踊「柳」・二才踊「上り口説」

エ 研修回数

令和6年度は以下の3回の研修を行う。

a 選抜研修（6月15日・16日）※選抜者

- b 技能発表会（9月7日・8日） ※全伝承者対象（選抜者をのぞく）
 c 成果発表会（11月9日・10日） ※出演は選抜者
 　※衣装、化粧、道具等についても師からの教えを再現する。
- 才 研修報告
- a 選抜研修（令和6年6月15日・16日 会場：国立劇場おきなわ（小劇場）浦添市）
 　令和6年度の選抜者（42人）を対象とした研修。全体を9グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この選抜研修にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。
- b 技能発表会（令和6年9月7日・8日 会場：ているる（ホール）（那覇市））
 　令和6年度の選抜者以外（240人）を対象とした研修。全体を19グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この技能発表会にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。
- c 成果発表会（令和6年11月9日・10日 会場：国立劇場おきなわ大劇場（浦添市））
 　本年度の選抜者（58名）による成果発表会。衣裳・拵えをして1年の研修成果を披露する。

一出演者名簿 課題 「柳」「上り口説」

○印が地謡リーダー ※太鼓は「上り口説」のみ出演

選抜研修：6月15日・16日（土・日）成果発表会：11月9日（土）

- ①舞踊：（太圭流）屋比久舞衣
 　地謡：（歌三線）（野村流音楽協会）○真榮田徹也・真喜志拡・知念勝三・比嘉啓太
 　（箏）外間己乃（笛）喜屋武京子（胡弓）照屋早月（太鼓）久志大樹
- ②舞踊：（玉城流扇寿会）二代目玉城盛義・東江裕吉
 　地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会）○渡名喜康広・金城力
 　（箏）名護みのり（笛）長濱美智子（胡弓）運転伊作（太鼓）久志大樹
- ③舞踊：（宮城本流鳳乃會）與那覇桂子
 　地謡：（歌三線）（野村流音楽協会）○真榮田徹也・真喜志拡・知念勝三・比嘉啓太
 　（箏）外間己乃（笛）喜屋武京子（胡弓）照屋早月（太鼓）久志大樹
- ④舞踊：（宮城流豊舞会）宮城小寿江・仲地ゆき乃（松含琉）佐久田江利子
 　（貞扇本流貞扇会）大城一咲
 　地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会）○渡名喜康広・金城力
 　（箏）名護みのり（笛）長濱美智子（胡弓）運転伊作（太鼓）久志大樹
- ⑤舞踊：（親泊本流親翁会）親泊洋子
 　地謡：（歌三線）（野村流音楽協会）○真榮田徹也・真喜志拡・知念勝三・比嘉啓太
 　（箏）外間己乃（笛）喜屋武京子（胡弓）照屋早月（太鼓）久志大樹（
- ⑥舞踊：（玉城流扇寿会）大城直江・金城奈津子
 　地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○宮平光英・謝敷アンヘル・座波洋平・知念一成
 　（箏）松川加代子（笛）具志美詩乃（胡弓）比嘉清（太鼓）宮里和希
- ⑦舞踊：（玉城流翔節会）上原美希子
 　地謡：（歌三線）（野村流保存会）○喜瀬学・宇栄原宗勝・比嘉啓和
 　（箏）玉城奈美恵（笛）石嶺聖士（胡弓）比嘉清（太鼓）宮里和希
- ⑧舞踊：（玉城流翠扇会）阿嘉修（玉城流敏風会）宮里理沙
 　（玉城流喜納の会）伊波妙
 　地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○宮平光英・謝敷アンヘル・座波洋平・知念一成
 　（箏）松川加代子（笛）具志美詩乃（胡弓）比嘉清（太鼓）宮里和希
- ⑨舞踊：（真境名本流）喜屋武愛香（かなの会）高嶺久枝（藤の会）松田香織
 　地謡：（歌三線）（野村流保存会）○喜瀬学・宇栄原宗勝・比嘉啓和
 　（箏）玉城奈美恵（笛）石嶺聖士（胡弓）比嘉清（太鼓）宮里和希

②選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,200千円（国7,000千円、県100千円、保存会100千円）

実施方法：国・県補助による組踊道具・衣裳製作修理保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

場所：各技術者の工房

事業内容：道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

1 道具：組踊道具の製作をした。技術者4名で、伝承者7名を指導した。

合計553回の研修を行った。

(1) 講師：金城裕幸 平田智之 上原じゅん子 新垣孝

(2) 伝承者：佐渡山也子 金城小百合 宮城優子 城間貞光

平田恵乃 江洲のぶ子 比嘉建秀

2 衣装：組踊衣装の製作をした。技術者1名で、伝承者1名を指導した。

合計41回の研修を行った。

(1) 講師：嘉手納タケ子

(2) 伝承者：満名苗子

3 技能・技術の鍛磨：作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め、作品・技術に反映させた。

4 島袋光史師「伝承者指導研修の様子、製作風景アルバム」を印刷製本。

③重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額：12,089千円（国12,000千円、県0円、保存会89千円）

実施方法：国補助による一般社団法人伝統組踊保存会直営事業

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

研修会：期日、内容等は下記のとおり。

研修の目的：伝承者に実技研修と教養講座（座学）を実施し技芸のさらなる向上を図る。

保持者は、伝承者の技量向上に資するように指導に努める。

基本方針：1 実技指導は、当会会員である保持者が行う。座学講座については、外部講師の招聘も考慮する。

2 立方、地謡に色々な役柄を与え、将来の指導者としての資質・能力を養うように指導する。

3 補助事業における伝承者は、20～30代の若手と中堅層をもって編成する。

今年度は、伝承者55名（立方22名、地謡33名）を対象に実施する。

4 指導計画を策定し、日々の研修・稽古を重視して技能向上を最重点に置く。

5 座学講座、実技研修の成果の確認は成果発表会を実施して行う。

研修内容：1 実技研修

(1) 実技研修演目は、朝薫の五番（「護佐丸敵討」「執心鐘入」「女物狂」「銘苅子」「孝行の巻」）と「手水の縁」「万歳敵討」「花壳の縁」「雪払い（眞境名本）」「賢母三遷之巻」。

(2) 前期、後期各15回の研修実施。年間二演目を研修。

2 座学

座学は、琉球の歴史、芸能史、組踊の歴史的背景、組踊に関する事項、組踊と他の伝統芸能の比較等。全6回講座実施。

3 成果発表会：国立劇場おきなわ大劇場

前期は令和6年9月23日（日）「女物狂」

後期は令和7年2月8日（日）「忠臣義勇」

④県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,113千円（県890千円、保存会223千円）

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業（会長：宮里良子）

事業内容：伝承者研修を実施し研修成果発表会を開催した。

事業期間：令和6年8月20日（火）～令和7年3月27日（木）

研修期間：令和6年9月5日（木）～令和7年1月16日（木）

場 所：沖縄県男女参画センター ほか

研修会：実技指導 10回、研修成果発表会

実技指導（保持者）：瀬名波孝子、安次嶺利美、宮里良子、高宮城実人、赤嶺啓子、
金城真次、伊良波さゆき、宮城武碩、徳原清文、仲宗根盛次、恩納裕

参加者（伝承者）：知念亜希、伊波留依、上原崇弘、奥平由依、廣山えりか、新垣勝夫、
平敷勇也、安次嶺正美、高井賢太郎、山内昌太、伊禮門綾、上間朝子、
新垣正弘、伊藝武士、金城光子、高里風花、玉城敦子、仲吉茜、宇座仁一、
福島千枝、知花小百合、西村悦子、平田晴香、糸数きよし、大城由紀子、
嘉陽田早苗、嘉陽田朝裕、島袋浩大、棚原健太、與那國太介、新垣俊道、
山里進、村上佳子、知念勝三、仲村逸夫、大城幸雄、金城清徳、
仲本亜寿香、上江洲静香、上原和哲、浜川恵子、池間北斗、桶川美晴、
入嵩西諭、具志美詩乃、金城裕幸、中村志津子、嘉数道彦、新川博敏、
平良芽美、石垣茉柚、諸喜田千華、上間悦子、玉城匠、宮城早苗、
長嶺ルーシー、大城建大郎、米須弥生、澤井毎里子、砂川美鈴、新屋康成、
平良大、津波古孝太、大城貴幸、横山太陽、町田倫士

⑤県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：412千円（県240千円、保存会172千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：玉城利和）

事業内容：野村流の正しい継承と発展及び芸能文化の向上を図ることを目的とし、会員（保持者、
伝承者）を対象に大昔節や昔節の歌三線を中心に研修会を実施した。

事業期間：令和6年6月8日～令和6年8月24日

（1）研修会

回	開催日時	開催場所	人数	研修内容
1	6/8（土）13:30～17:00	西原町 社会福祉 センター	51人	①茶屋節・すき節 ②本田名節 ③秘伝仲風
2	7/6（土）13:30～18:30		78人	①講話：野村流を共有する～『樂 典』（世禮國男著）にみる声楽譜を 中心にして②本田名節・真福地之は いちやう節・揚高禰久節③茶屋節・ すき節④秘伝仲風
3	8/24（土）13:30～19:00		93人	①齊唱：茶屋節・すき節・秘伝仲風 ②舞踊：作田・天川・高平良萬歳

（2）指導者（保持者）：金城幸浩、宮城竹茂、上間克美、長浜眞勇、山城暁

⑥県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：301千円（県240千円、保存会61千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：濱元盛爾）

事業内容：年間事業計画により伝承者養成事業を毎月1回開催し、保持者が指導を行っている。

研修会は10回開催した。また文化的知識を深め資質の向上を図る目的に講師を招聘
し、特別講演会を1回実施した。

事業期間：令和6年5月26日～令和7年3月23日

（1）研修会 毎月1回 第4日曜日 午前10時～正午

（2）特別講演会（保持者・伝承者研修）

- ① 日 時：令和6年9月22日（日） 午前11時～正午
- ② 講 師：久万田晋 氏
- ③ 講話内容：「沖縄本島各地の臼太鼓」
- ④ 場 所：結の街 大研修室

（3）指導者：西江喜春、濱元盛爾、大湾清之、金城清雄、照喜名進

回	開催日	内容・開催場所
1	5/26(日)	御前風、伊野波節、作田節、茶屋節、子持節、述懐節
2	6/23(日)	御前風、稻まづん節、暁節、十七八節、千瀬節、仲風節
3	7/28(日)	御前節、優秀賞・最高賞の課題曲

4	8/25(日)	御前風、昔蝶節、本調子述懐節、赤田風節
5	9/22(日)	伝承者養成研修会(午前 10 時～午前 10 時 45 分 結の街 大研修室) 特別公演(午前 11 時～正午) 講師:久万田晋 演題:「沖縄本島各地の臼太鼓」
6	10/27(日)	御前風、昔蝶風、本調子述懐節、赤田風節
7	11/24(日)	御前節、今風節、本調子仲風節、仲間節、仲村渠節
8	12/22(日)	御前風、今風節、本調子仲風節、仲間節、仲村渠節
9	令和7年 1/26(日)	御前風、教師免許課題曲(暁節、散山節)、 師範免許課題曲(十七八節、本花風節)
10	2/23(日)	御前風、教師免許課題曲(暁節、散山節)、師範免許課題曲(十七八節、本花風節)
11	3/23(日)	御前節、保持者による指導及び研修総括

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額：303 千円（県 240 千円、保存会 63 千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業（会長：野里葉子）

事業内容：保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間：令和 6 年 6 月 6 日～令和 7 年 3 月 7 日

研修会：第 1 回 令和 6 年 7 月 21 日（日）66 名参加

第 2 回 令和 6 年 10 月 13 日（日）58 名参加

第 3 回 令和 6 年 11 月 20 日（水）45 名参加

第 4 回 令和 7 年 2 月 11 日（火）63 名参加

場所：国立劇場おきなわ 大稽古室

指導者：野里葉子、安慶名久美子、比嘉淳江、具志堅道子、米須幸子

講演会：令和 7 年 2 月 11 日（火）

場所：国立劇場おきなわ 大稽古室

講師：沖縄県立芸術大学教授 山内昌也

⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」伝承者養成事業

事業総額：62 千円（県 49 千円、保存会 13 千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽湛水流保存会（会長：渡久山春憲）

事業内容：保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間：令和 7 年 1 月 9 日～令和 7 年 3 月 26 日

(1) 湛水流伝統保存会系・琉球古典音楽湛水流保存会系 2 会派合同

日時：令和 7 年 1 月 26 日（日）10:00～11:30 場所：沖縄市農民研修センター

講師（保持者）：上里平三、渡久山春憲、宮城康明、島袋英治、宮里秀明、城間盛秋、
高江洲昌和、渡慶次哲三、濱里長希、山内昌也

受講生（伝承者）：12 名

(2) 湛水流伝統保存会系

日時：令和 7 年 2 月 27 日（木）19:00～20:30 場所：那覇市首里石嶺公民館

講師（保持者）：上里平三、渡久山春憲、宮城康明

受講生（伝承者）：11 名

(3) 琉球古典音楽湛水流保存会系

日時：令和 7 年 3 月 1 日（土）10:00～11:30 場所：沖縄市農民研修センター

講師（保持者）：島袋英治、宮里秀明、渡慶次哲三、高江洲昌和、城間盛秋、濱里長希、山内昌也

受講生（伝承者）：11 名

(2) 芸能（組踊等普及啓発事業）

①組踊特別鑑賞会（全国公演）・・・国庫補助事業

事業総額：27,795千円（国27,753千円、県0円、保存会42千円）

趣旨：全国各地で重要無形文化財「組踊」を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図り、併せて開催地の芸術文化活動、文化財保護活動に資するため、本特別鑑賞会を開催する。

普及公演：組踊を広く一般に周知するため、全国6カ所で公開した。

事業主体：一般社団法人 伝統組踊保存会

実施方法：国補助による保存会直営事業

事業期間：令和6年4月2日～令和7年3月31日

事業内容：組踊1題、琉球舞踊4題を上演し、組踊の概要等を県教育庁文化財課指導主事が解説した。字幕を投影し、演目解説書を観客に配布した。

開催地、開催日時及びプログラムは次のとおりである。

第1部 琉球舞踊：「老人老女」（かぎやで風）・「若衆踊」（若衆こてい節）

「二才踊」（下り口説）・「女踊」（天川）

第2部 組踊：「執心鐘入」、「花壳の縁」、「護佐丸敵討」、「万歳敵討」から1つ

開催日	開催地	演目
7月21日（日）	長野県飯綱町 飯綱中学校講堂（389人）	執心鐘入
9月29日（日）	京都府綾部市 京都府中丹文化会館（706人）	花壳の縁
10月13日（日）	神奈川綾瀬市 綾瀬市オーエンス文化会館（360人）	万歳敵討
11月16日（土）	奈良県三郷町 三郷町文化センター（600人）	執心鐘入
12月7日（土）	福井県若狭町 パレア若狭音楽ホール（280人）	護佐丸敵討
1月26日（日）	鹿児島県薩摩川内市 SS プラザせんだい（600人）	護佐丸敵討

②「児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会」組踊・沖縄芝居ワークショップ業務委託・・・県単独事業

事業総額：1,553千円

趣旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、丸正印刷株式会社に事業委託

実演団体：女流組踊研究会 めばな、ステージサポート沖縄

事業内容：ワークショップ（組踊・沖縄芝居）の実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

ア 組踊ワークショップ実施校（参加人数）

①南城市立馬天小学校（参加者：4・5年生・職員：計137人）

日 時：令和6年10月18日（金）9:40～11:25

場 所：学校体育館

立 方：金城佳子、西村綾織、新里春加、嘉数愛美

地 謡：和田信一（三線）、大城貴幸（笛・箏曲・胡弓）、宮里和希（太鼓）

②西原町立西原中学校（参加者：3年生・職員：計225人）

日 時：令和6年12月3日（火）13:40～15:30

場 所：学校体育館

立 方：金城佳子、西村綾織、大城淳紀、嘉数愛美

地 謡：和田信一（三線）、大城貴幸（笛・箏曲・胡弓）、横目大通（太鼓）

イ 沖縄芝居ワークショップ実施校（参加人数）
沖縄市立諸見小学校（参加者：3・4・5・6年生・職員：計 269 人）
日 時：令和 7 年 1 月 17 日（金）9:25～11:05
場 所：学校体育館
立 方：嘉数道彦、高宮城実人、小嶺和佳子、知花小百合、玉城匠、高里風花
地 謡：平良大（三線・笛・胡弓）

(3)工芸技術

① 重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,618千円（国 7,000千円、県 309千円、村 278千円、保存会 31千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良美恵子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

技能保持者6名を中心に講師14名が受講生8名を対象に個々人の熟練度に応じた技術指導を実施した。

1) 芯止め・葉打ち、2) 莖倒し・莖吹き・莖引き、3) 莖績み、4) 緋結び・染色、
5) 撥り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 洗濯、9) 番清掃

講 師：當眞廣子、稻福和香子、宮城糸美、金城悟、宮城涼子、辺士名加代子、
山城雪枝、平良美恵子、桃原秋子、稻福千代、大城章子、加藤泉、前田明子
山川チズ子

伝 承 者：神谷美香、座喜味ゆり香、平良清美、山城薰、大城泉、金城武治、平良雅志
橋本恵美

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

場 所：大宜味村立芭蕉布会館

(2) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,600千円（国 8,000千円、県 300千円、市 200千円、保持団体 100千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

図案・手括り（講師1名、伝承者1名）、染め（講師1名、伝承者2名）、織り（講師1名、伝承者1名）の3部門において講習を実施した。

講 師：下地達雄（図案・手括り）、神里佐千子（染め）、本村三子（織り）

伝 承 者：小祿有美子（図案・手括り）、松堂初美、長濱充代（以上、染め）
長濱充代（織り）

実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月28日

場 所：下地達雄工房、平良清子工房、本村三子工房、長濱充代工房
宮古市伝統工芸品センター

(2) 技術研究事業

下地達雄工房において、図案・手括りの技術研究を実施した。

(3) 原材料・用具の確保事業

藍攪拌棒・緯絹用定規・16ヨミ糸綜続・絹括り台の製作を委託した。

(4) 関連技術事業

経糸講座（講師1名、受講者4名）、緯糸講座（講師1名、受講生1名）にて莖麻績み講座を開講した。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,227千円（国 8,000千円、県 113千円、町 54千円、保持団体 60千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：桃原穎子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

1 養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、図案作成、染色の伝承者養成講座（事業）を実施した。

- 2 養蚕は、7名の講師で伝承者及び桑の葉の取り方から上蔟まで毎日5～6回の桑の葉の与え方や、上蔟の時期等の講習を行った。
- 3 絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、各7名の講師で伝承者にケンネル（座繰り機）等での糸作り、真綿からの糸ひき、撚糸機の撚りかけ方等の講習を行った。
- 4 図案作成は、7名の講師で伝承者に講習を行い、染色は、11名の講師で泥染め技術の講習を行った。
- 5 資料収集整理事業として、資料調査データを収集し、パソコン等で整理を行った。
- 6 技術研究事業として、古い久米島紬の調査を行い、技術研究を行った。
- 7 原材料・用具の確保事業として、養蚕に必要な桑畑の管理を行った。
- 8 久米島紬アーカイブ動画及びPR動画の作成を行った。
- 9 講 師：イ)養 蚕：①我那覇ケイ子、②桃原穎子、③宮平トシ子、④幸地綾子、
⑤高坂エミ子、⑥平田トキ子、⑦山城智子
ロ)絹糸作り：①我那覇ケイ子、②桃原穎子、③宮平トシ子、④幸地綾子、
⑤高坂エミ子、⑥平田トキ子、⑦山城智子
ハ)真綿作り：①我那覇ケイ子、②桃原穎子、③宮平トシ子、④幸地綾子、
⑤高坂エミ子、⑥平田トキ子、⑦山城智子
二)糸つむぎ：①我那覇ケイ子、②桃原穎子、③宮平トシ子、④幸地綾子、
⑤高坂エミ子、⑥平田トキ子、⑦山城智子
ホ)図 案：①我那覇ケイ子、②桃原穎子、③宮平トシ子、④幸地綾子、
⑤高坂エミ子、⑥平田トキ子、⑦山城智子
ヘ)染 色：①我那覇ケイ子、②桃原穎子、③宮平トシ子、④幸地綾子、
⑤高坂エミ子、⑥平田トキ子、⑦山城智子、⑧山城宗太郎、
⑨宮平登美子、⑩新垣勝秀、⑪宇江城ヤス子
- 10 伝 承 者：①儀間勝枝、②古堅ヨシエ、③神里智江、④仲地洋子、⑤毛利玲子、
⑥佐久田康子、⑦伊是名順子、⑧仲田正子、⑨吉元広子、⑩平田トキ子
⑪山城智子
- 11 事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
- 12 場 所：久米島紬の里ユイマール館
- (2) 原材料・用具の確保
養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。
- (3) その他
文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

② 選定保存技術の伝承者養成事業

- ア) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業
- 事業総額：10,611千円（国10,000千円、県245千円、保存会366千円）
- 実施方法：国・県補助による保存会直営事業
- 事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長：友利明美）
- 事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
- 場 所：宮古島市、多良間村の各講師宅および公民館等
- 事業内容：
- (1) 伝承者養成事業
- ①初級講習として、宮古上布の原料となる苧麻の収穫から、整経までの5工程を18教場（平良11、下地2、上野3、伊良部1、多良間1）において講師のべ14名、研修生のべ72名で実施した。研修の内容は以下の通り。
- 1)苧麻刈り取りおよび苧麻引き、2)苧麻裂き、3)苧麻績み、4)撚りかけ、5)かし掛け
- ②中級講習として、ブーンミコース（緯糸）、撚り掛けコース、10ヨミコース（経糸）を実施した。受講者は5名であった。
- ③栽培・ブー引きコースを開設し、苧麻の刈取りなど畑での実習を実施した。受講者は4名であった。
- ④自由に参加できるぶーんみ講座を21回開催し、講習修了者の継続や研修生候補発掘の場を設けた。受講者は、延べ34名であった。
- (2) 研修発表事業
- 宮古島市歴史文化資料館にて、研修成果発表として第15回苧麻糸展示会を開催した。
- (3) その他
- 文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施し、補助事業の各項目について事務調整等を行った。

イ) 選定保存技術「手機製作」技術鍊磨及び記録作成刊行事業

事業総額：1,239千円（国1,106千円、県123千円、保持者10千円）

実施方法：国補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

場 所：大城織機製作所

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作の記録を作成し、刊行するための編集会議などを開催した。

ウ) 選定保存技術「琉球藍」伝承者養成事業

事業総額：6,526千円（国6,000千円、町400千円、保存会126千円）

実施方法：国・町・保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：嵩原安彦）

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月24日

事業内容：

（1）伝承者養成事業

① 5月下旬～7月初旬は製藍技術の研修を行い、1月から植え付け準備を始め、2月～3月にかけて植え付け作業を行った。その他の時期は灌水・除草・施肥等の肥培管理作業に従事したが、秋の収穫を行わない製造所は9月頃に植え付け準備を行い、10月後半から11月にかけて藍草の植え付けを行った。

② 場所 講師の各工房

③ 講師 仲西利夫・比嘉良松・荒木瑞江・上間守

④ 伝承者 竹山安秀・澤野孝・坂田伸治・森洋治

（2）研修事業

久米島紬事業協同組合や町内の染織作業場を見学し交流を図った。

（3）その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

エ) 選定保存技術「建造物琉球漆塗・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術」伝承者養成事業

事業総額：8,652千円（国8,552千円、保存会100千円）

実施方法：国補助による保存会直営事業

事業主体：一般財団法人 沖縄美ら島財団

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

場 所：那覇市、与那原町、八重瀬町、沖縄美ら島財団（那覇事務所）、八幡瓦工場、西建設事務所ヤード

事業内容：伝承者養成事業は漆による外壁塗装、瓦製作と瓦漆喰施工の3つに分けて行った。

（1）3分野 共通講義

i 講義1：沖縄の建築と技術

ii 講義2：琉球王国文化遺産集積・再興事業について

iii 講義3：文化財概論と保存修理概論

iv 講義4：首里城正殿復元事業について

（2）漆による外壁塗装

i 講義1：漆器の文化保存修復について

ii 講義2：色彩文化財の修復について

iii 講義3：建造物塗装基礎 一日光の伝統的建築における塗装について

iv 実習1：髹漆実習（工程手板製作実習）ニービを使った下地塗りなど琉球髹漆行程

v 実習2：建造物色彩【桐油色彩】一桐油を用いた彩色実習・縹緲彩色

vi 実習3：建造物塗装基礎 一日光の伝統的建築における塗装について

vii 見学：保存修理現場見学一藤井漆工藝株式会社・日光東照宮

（3）瓦製作・瓦漆喰施工 共通講義

i 講義1：沖縄の瓦の歴史

ii 講義2：伝統瓦基礎 一日本の瓦葺きの基礎及び琉球赤瓦の独自性について

iii 講義3：瓦の材料・製作 一赤瓦の製作に関する基礎知識

（4）瓦製作

i 実習1：赤瓦伝統製作技術【前期】一赤瓦の伝統的製作技術（成形まで）

- ii 実習 2 : 赤瓦伝統製作技術【後期】—赤瓦の伝統的製作技術（焼成まで）—
iii 見 学：保存修理現場見学—姫路城・鶴林寺・宝生寺・大栄窯業株式会社—
(5) 瓦漆喰施工
i 実習 1 : 赤瓦葺き基礎—瓦選別、墨出し等瓦葺き—
ii 実習 2 : 赤瓦漆喰塗基礎【下塗り】—節塗、腹塗等漆喰塗—
iii 実習 3 : 赤瓦漆喰塗上級編【上塗り】—軒の仕上げ塗等の上級者用塗—
iv 見 学：保存修理現場見学—姫路城・鶴林寺・宝生寺・大栄窯業株式会社—

③ 沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県 320千円、保存会 106千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：本年度は、古びん型から学ぶことをテーマに、型紙を使用して染めるびん型を伝統技法に基づきながら、創作柄の帯を染めた。

- ① 開講式(保持者とその伝承者が参加して、事業の趣旨を十分に理解した)
- ② 古典柄を参考に下絵を作成した。
- ③ 染地型紙・白地型紙を彫った。
- ④ 彫った型紙を使用して型を置き、色差しをした後、模様を糊で伏せ(ピンキー)地染めを行った。
- ⑤ 閉講式(作品についての講評等)

講 師：城間榮順、知念績元

伝 承 者：知念績人、平良優磨、山岸枝里奈

事業期間：令和6年11月28日～令和7年3月21日

場 所：保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：345千円（県 259千円、保存会 86千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：多和田淑子）

事業内容：「花織」全工程（意匠設計～製織）の技術指導を祝嶺恭子の工房において実施した。各工程については次のとおりである。

- (1) 意匠設計
- (2) 糸精練
- (3) 経糸染色
- (4) 経糸糊付け
- (5) 経糸繰返し
- (6) 整形
- (7) 仮簇通し
- (8) 経巻き
- (9) 花綜紺作り
- (10) 紹紺通し
- (11) 花綜紺通し
- (12) 簇通し
- (13) 織付け
- (14) 緯糸染色
- (15) 緯糸小管巻き
- (16) 製織
- (17) 整理仕上げ
- (18) 資料整理

講 師：祝嶺恭子

伝 承 者：野里愛子、比嘉麻南

事業期間：令和6年8月8日～令和7年1月6日

場 所：保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「八重山土布」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県 340千円、市 60千円、保存会 26千円）

実施方法：県・市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山土布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：今年度は、3か所の工房で補助事業を実施した。中村澄子の工房では、捺染による着尺の指導を行った。新垣幸子の工房では、染色にも重点を置き、多色の経ずらし、緯絣という高度な織の帯を手掛けた。松竹喜生子の工房では、手績み糸を使い上布の帯地の花織を作成した。

講 師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子

伝 承 者：中村雪江、崎原克友、松竹未来

事業期間：令和6年9月1日～令和7年1月31日

場 所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄本島及び周辺離島における民俗芸能 民俗文化財調査事業

事業総額：4,171 千円 (国 3,336 千円、県 835 千円)

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

事業目的：沖縄本島及び周辺離島においては、各地域で豊作に感謝し予祝を行う豊年祭等の祭り・行事が行われているが、社会生活が変容していく中で行われなくなった地域も少なくない。また、その中で演じられる民俗芸能については、これまで体系的な調査が少なく近年変容も見られる中で、時期を逸すると各地域の伝統行事で演じられる民俗芸能の特色を明らかにする調査が行えなくなる恐れがある。よって、沖縄本島及び周辺離島に伝承されている民俗芸能の実態を把握し、その特色を明らかにするために、民俗芸能・民俗学の視点から悉皆調査及び詳細調査を実施し、民俗文化財の保護・活用と文化財保護施策推進、並びに地域文化の振興に資する調査報告書を刊行する。

実施場所：沖縄本島及び周辺離島

実施概要：主に旧暦6月～9月に行われる豊年祭等で演じられる民俗芸能について、調査票作成による基礎調査（悉皆調査）と調査対象地区への現地調査による詳細調査を行った。

調査員：久万田 晋（沖縄県立芸術大学教授）

萩尾 俊章（沖縄民俗学会会長）

照屋 理（名桜大学教授）

遠藤 美奈（沖縄県立芸術大学准教授）

我部 大和（沖縄国際大学准教授）

稻福 政齊（沖縄国際大学・沖縄大学非常勤講師）

伊良波賢弥（那覇市市民文化部文化財課（那覇市歴史博物館））

井口 学（豊見城市文化財課）

調査協力員：3名

② 神アサギ茅葺き屋根の葺き替え等保存修理事業

事業総額：2,021 千円 (県 808 千円、伊是名村 1,213 千円)

事業種別：県単独補助事業

事業主体：伊是名村

事業期間：令和7年1月25日～令和7年3月5日

事業目的：県指定有形民俗文化財「伊是名村勢理客の神アサギ附宅地」の茅葺き屋根が腐食により崩れていたため、リュウキュウチク、竹、藁縄を用い、伝統的な工法で茅葺き屋根の葺き替えを行った。

③ 第66回九州地区民俗芸能大会（県単独補助事業）

事業総額：1,024 千円 (県 500 千円、団体 524 千円)

事業種別：県単独補助事業

事業主体：首里王府阿波連路次楽御座楽保存会

大会名称：第66回九州地区民俗芸能大会

開催期日：令和6年11月9日（日）

開催場所：桜十字ホール やつしろ（熊本県八代市）

派遣芸能：首里王府の路次楽・御座楽

「路次楽」は、主に屋外で行われる行列や儀式の際に演奏される音楽のこと。その由来は、1522（嘉靖元年）に明国（中国）の世宗皇帝即位の慶賀使として派遣された沢岳親方（ウェーカタ）盛里が帰国の時、楽器と吹奏法を伝えたとされている。以来、首里城内の公式行事や琉球国王の外出の際に道中の先触れとして演奏され、現在に至るまで500年以上もの間、様々な演奏者の手で受け継がれてきた。昭和53年には、「記録作成等の措置を講ずべき文化財」として、沖縄県指定「選択無形民俗文化財」に、平成10年には、那覇市の「無形民俗文化財」に指定されている。

「御座楽」は室内で演奏されるアンサンブル音楽のこと。「路次楽」と同じく中国伝来の様々な楽器を用いて演奏される。中国使節「冊封使」の歓待や、「謝恩使」「慶賀使」などの琉球使節が江戸を訪れる「江戸上り」の際に、江戸城や薩摩屋敷で披露された。

出演演目

	芸能名	出演団体
1	たかもり 高森のにわか	かんまちこうじょうかい 上町向上会
2	いきめかぐら 生目神楽	いきめかぐらほぞんかい 生目神楽保存会
3	しうう 舟志の盆踊り	かみつしまちょうたいこほぞんかい つしまあいこれん 上対馬町太鼓保存会・対馬愛鼓連
4	あさくさりゅうまつおかぐら 浅草流松尾神楽	まつおかぐらほぞんかい 松尾神楽保存会
5	しゅりおうあ 首里王府の路次楽・御座楽	しゅりおうすあはれんるじがくうざがく 首里王府阿波連路次楽御座楽保存会
6	ふじのき 藤木の獅子舞	ふじのきちょうじしまいほぞんかい 藤木町獅子舞保存会
7	おばらかぐら 小原神楽	おはらかぐらこう 小原神楽講
8	おんなずもろ 女相撲	せんちようまちおんなずもろほぞんかい 千丁町女相撲保存会
9	ひしかりちょうゆ 菱刈町湯之尾神社の神舞	ゆのおかんまいほぞんかい 湯之尾神舞保存会

4. 記念物

(1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝を含む）、国登録の登録記念物、国選定の文化的景観、県指定の史跡・名勝の件数は合計 131 件（令和 7 年 5 月 1 日現在）である。令和 6 年 11 月 29 日には那覇市の「第 32 軍司令部壕（首里司令部壕跡）」が 56 件目の県指定史跡となり、令和 7 年 3 月 10 日に北谷町の「北谷城跡」の追加指定が官報告示された。今後も貴重な文化財の適切な保存・活用を図るために、指定等文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県指定文化財を中心に進めている。

令和 6 年度は史跡の「先島諸島火番盛（竹富町）」、特別名勝「識名園」で史跡等保存活用計画策定事業を実施し、うち特別名勝「識名園」は保存活用計画策定書を刊行した。史跡「中城城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「伊礼原遺跡」、「北大東島燐鉱山遺跡」、「先島諸島火番盛（竹富町）」、「斎場御嶽」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「円覚寺跡」、「浦添城跡」、「具志川城跡」、「勝連城跡」、「糸数城跡」、「糸数城跡（石垣調査）」、「知念城跡」、「中城ハンタ道」及び名勝「伊江殿内庭園」、「アマミクヌムイ（越來グスク）」が歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業を実施した。なお、事業を令和 6 年度に繰り越しで実施した史跡「伊礼原遺跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」及び名勝「伊江殿内庭園」、「アマミクヌムイ（越来グスク）」は事業を完了した。文化的景観保護推進事業は、重要文化的景観「北大東島の燐鉱山由来の文化的景観」、「今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観」を実施した。史跡等買上事業は、史跡「佐敷城跡」で直接買上を実施した。名勝地調査では金武町の「金武鍾乳洞」が報告書を刊行した。その他、県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」及び県指定史跡「伊敷索城跡」、「仲間第二貝塚」では保存修理事業を県指定史跡「ミントングスク」では管理事業を実施した。

①国庫補助事業

ア) 史跡等保存活用計画策定事業

a) 事 業 名：特別名勝「識名園」史跡等保存活用計画策定事業

事 業 主 体：那覇市

事 業 経 費：5,261 千円（国 2,255 千円、市 3,006 千円）

事 業 内 容：○会議を 2 回実施し、刊行した。

b) 事 業 名：史跡「先島諸島火番盛」史跡等保存活用計画策定事業

事 業 主 体：竹富町

事 業 経 費：2,816 千円（国 2,253 千円、市 563 千円）

事 業 内 容：○会議を 2 回実施し、当該史跡が所在する市町村と協議をしながら中間報告をまとめた。

イ) 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

a) 事 業 名：史跡「伊礼原遺跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（繰越）

事 業 主 体：北谷町

事 業 経 費：60,709 千円（国 48,567 千円、県 1,451 千円、町 10,691 千円）

事 業 内 容：○縄文の森地区一部の工事及び、施工管理業務を委託で実施した。

○遺跡標識・解説板・案内板の制作を委託で実施した。

b) 事 業 名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（繰越）

事 業 主 体：浦添市

事 業 経 費：5,119 千円（国 4,000 千円、市 1,119 千円）

事 業 内 容：○普天満参詣道の植栽工事を実施した。

○中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会を 1 回実施した。

c) 事 業 名：名勝「伊江殿内庭園」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（繰越）

事 業 主 体：那覇市

事 業 経 費：12,027 千円（国 9,622 千円、県 287 千円、市 2,118 千円）

事 業 内 容：○主庭部一部の整備及び樹木撤去工事を実施した。

○擁壁の設計業務を委託で実施した。

○伊江殿内庭園整備委員会を 2 回実施した。

- d) 事業名：名勝「アマミクヌムイ（越来グスク）」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（繩越）
事業主体：沖縄市
事業経費：7,951千円（国4,712千円、県141千円、市3,098千円）
事業内容：
○整備全体の基本設計を委託で実施した。
○越来グスク整備委員会を2回実施した。
- e) 事業名：史跡「中城城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：中城村
事業経費：28,691千円（国22,952千円、村5,739千円）
事業内容：
○南の郭北側外壁沿い及び西の郭西側石階段袖石積の発掘調査を実施した。
○一の郭北西隅城壁の積み直し工事及び、その実施設計・施工管理業務委託を実施した。
○発掘調査報告書刊行に向け、資料整理を実施した。
○中城城跡整備委員会を2回実施した。
- f) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：今帰仁村
事業経費：17,380千円（国13,903千円、村3,477千円）
事業内容：
○今帰仁阿慮理屋恵火之神祠復元工事及び、その監理を委託で実施した。
○今帰仁城跡附シイナ城跡調査整備委員会を1回実施した。
- g) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：北谷町
事業経費：79,974千円（国63,979千円、町15,995千円）
事業内容：
○縄文の森地区一部の工事及び、その現場技術業務委託を実施した。
○サイン製作業務を委託で実施した。
○伊礼原遺跡整備委員会を1回実施した。
- h) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：北大東村
事業経費：11,796千円（国9,437千円、村2,359千円）
事業内容：
○遺跡保存状況調査を委託で実施した。
○ガイダンス施設の基本設計業務を委託で実施した。
○史跡重要文化的景観合同整備委員会を3回実施した。
- i) 事業名：史跡「先島諸島火番盛」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：竹富町
事業経費：10,011千円（国7,992千円、町2,019千円）
事業内容：
○鳩間中森のレーザー測量業務を委託で実施した。
○先島諸島火番盛整備委員会を2回実施した。
- j) 事業名：史跡・名勝「斎場御嶽」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：南城市
事業経費：22,340千円（国17,830千円、市4,510千円）
事業内容：
○土質調査及び排水施設整備の実施設計を委託で実施した。
○斎場御嶽整備委員会を2回実施した。
- k) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：浦添市
事業経費：5,740千円（国4,592千円、市1,148千円）
事業内容：
○赤皿ガードの整備工事を実施した。
○中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会を1回実施した。
- l) 事業名：史跡「円覚寺跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：沖縄県
事業経費：55,425千円（国44,340千円、県11,085千円）
事業内容：
○三門の復元工事のうち1階の建て方まで実施した。
- m) 事業名：史跡「浦添城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：浦添市

- 事業経費：20,430千円（国15,960千円、市4,470千円）
事業内容：○第II整備地区の復元整備に先立って城壁復元箇所の地質調査を委託で実施した。
○発掘調査を委託、過年度調査の資料整理を直営で実施した。
○遺物の科学分析を委託で実施した。
- n) 事業名：史跡「具志川城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：久米島町
事業経費：4,950千円（国3,960千円、町990千円）
事業内容：○一・二の郭の修復に向け、伐採を工事請負で実施し、測量した。
- o) 事業名：史跡「勝連城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：うるま市
事業経費：24,898千円（国19,918千円、市4,980千円）
事業内容：○南風原御門周辺の発掘調査を実施した。
○東の曲輪整備実施計画を委託で策定し、工事車両用の仮設道路整備工事を実施した。
○勝連城跡整備委員会を3回実施した。
- p) 事業名：史跡「糸数城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：南城市
事業経費：26,450千円（国20,920千円、市5,530千円）
事業内容：○前年度に引き続き北のアザナの展望台設置工事を実施し完了した。この工事の監督支援業務は委託で実施した。
○過年度調査の資料整理を実施した。
○糸数城跡整備委員会を1回実施した。
- q) 事業名：史跡「糸数城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（石垣調査）
事業主体：南城市
事業経費：23,345千円（国18,536千円、市4,809千円）
事業内容：○西側崖地から南側崖地のレーザー測量と石垣カルテ作成を委託で実施した。
○正門から北のアザナの立面図を委託で作成した。
- r) 事業名：史跡「知念城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：南城市
事業経費：11,195千円（国8,956千円、市2,239千円）
事業内容：○北側城壁の測量のための伐採を実施した。
○発掘調査及び過年度調査の資料整理を実施した。
○知念城跡整備委員会を1回実施した。
- s) 事業名：史跡「中城ハンタ道」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：中城村
事業経費：12,297千円（国9,363千円、村2,934千円）
事業内容：○法面の擁壁工事及び、その設計・監理業務を委託で実施した。
○遺構確認のため発掘調査を実施した。
○発掘調査報告書の発刊にむけて資料整理を実施した。
○中城ハンタ道整備委員会を2回実施した。
- t) 事業名：名勝「伊江殿内庭園」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：那覇市
事業経費：9,684千円（国7,747千円、市1,937千円）
事業内容：○陽刻文字の保存処理及び主庭部一部の実施設計を委託で実施した。
○伊江殿内庭園整備委員会を1回実施した。
- u) 事業名：名勝「アマミクヌムイ（越來グスク）」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：沖縄市
事業経費：13,950千円（国6,944千円、市7,006千円）
事業内容：○斜面地保護の実施設計を委託で実施した。
○越來グスク整備委員会を1回実施した。

ウ) 文化的景観保護推進事業

- a) 事業名：北大東島の燐鉱山由来の文化的景観保護推進事業
事業主体：北大東村
事業経費：8,777千円（国6,995千円、村1,782千円）
事業内容：○式六莊改修設計を委託で実施した。
○史跡重要文化的景観合同整備委員会を3回実施した。
- b) 事業名：今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観保護推進事業
事業主体：今帰仁村
事業経費：7,024千円（国5,619千円、村1,405千円）
事業内容：○集落西側のフクギ台帳作成を委託で実施した。
○住民ワークショップを実施した。
○剪定などフクギ管理を実施した。
○2建の民家でフクギ植栽工事を実施した。

エ) 史跡等土地買上事業

- a) 事業名：史跡「佐敷城跡」史跡等買上（直接買上）事業
事業主体：南城市
事業経費：25,100千円（国20,080千円、市5,020千円）
買上実績：1,447.51m² 5筆

オ) 名勝地調査

- a) 事業名：金武鍾乳洞（日秀洞）名勝調査
事業主体：金武町
事業経費：7,194千円（国5,672千円、町1,522千円）
事業内容：測量、文献調査、聞き取り調査をまとめた報告書を刊行した。

②県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

- a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業
事業主体：那覇市
事業経費：655千円（県300千円、市355千円）
事業内容：○石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準ずる工法、材質及び寸法等で保存修理を実施した。
- b) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」石積み解体積み直し
事業主体：那覇市
事業経費：656千円（県328千円、市164千円、個人164千円）
事業内容：○個人有地において、一部崩落した石積みの積み直しを実施した。
- c) 事業名：県指定史跡「仲間第二貝塚」標柱建て替え
事業主体：竹富町
事業経費：1,386千円（県693千円、町693千円）
事業内容：○標柱が傾倒し、劣化から文字の判別も難しかったことから建て替えを実施した。
- d) 事業名：県指定史跡「伊敷索城跡」
事業主体：久米島町
事業経費：1,697千円（県764千円、町933千円）
事業内容：○豪雨によって崩落した三の郭の写真測量を実施した。

イ) 管理事業

- 事業名：県指定史跡「ミントングスク」管理事業
事業主体：南城市
事業経費：100千円（県50千円、市50千円）

事 業 内 容 : ○県指定史跡「ミントングスク」の適切な保存と活用を図るため、指定地内の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者への委託で実施した。

(2) 天然記念物

①天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：平久保のヤエヤマシタン天然記念物再生（平久保のヤエヤマシタン）

事業総額：4,649千円（国3,719千円、石垣市930千円）

事業主体：石垣市

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月24日

事業内容：ヤエヤマシタンはマメ科に属する高木種で、石垣市平久保の自生地が我が国における分布の北限を示し、そこでは2本の古い巨木が指定されている。しかしその自生地において、シタンヒメヨコバイやシロアリによる被害があり、放置すると枯死する可能性があるため、害虫駆除と併せて指定木の診断、周辺植生調査、ヤエヤマシタンの遺伝子解析調査を行った。

②天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：首里金城の大アカギ天然記念物再生（首里金城の大アカギ）

事業総額：4,656千円（国3,302千円、那覇市1,354千円）

事業主体：那覇市

事業期間：令和6年8月1日～令和7年2月28日

事業内容：首里金城の大アカギは樹齢200年以上と推定される5本の大木群であり、平成29年度に簡易的な樹勢の診断業務を行ったところ、良好な状態ではないことが判明した。そのため、樹木医の診断のもと樹勢回復を目的とした土壤改良を実施した。

③史跡等保存活用計画策定事業（国庫補助事業）

事業名：慶佐次湾のヒルギ林保存活用計画策定（慶佐次湾のヒルギ林）

事業総額：2,970千円（国2,376千円、東村594千円）

事業主体：東村

事業期間：令和6年5月1日～令和7年3月27日

事業内容：慶佐次湾のヒルギ林は、分布北限付近の広大なマングローブとして貴重であるが、慶佐次川上流からの土砂流入やマングローブの発達に伴う陸地化やモクマオウ類やギンネムなど外来植物の侵入などの課題があり、対策を講じてきた。本年度は、今後の保存管理の方法やヒルギ林の活用計画を策定した。

④天然記念物環境整備事業（県補助事業）

事業名：万座毛植生環境整備事業（万座毛石灰岩植物群落）

事業総額：12,254千円（県4,901千円、恩納村7,353千円）

事業主体：恩納村

事業期間：令和6年10月29日～令和7年3月31日

事業内容：万座毛の本質的価値である景観や植生の維持のため、アダンの伐採・伐根を行い、万座毛指定地内からシバを移植した。

5. 埋蔵文化財

埋蔵文化財は、全国各地の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない、国民共有の貴重な歴史的財産である。沖縄県には現時点で約 4,000 箇所が確認されており、旧石器時代から近代に至る時期の貝塚や集落跡、古墓、グスク、さらには水中遺跡や戦争遺跡等、その種別は多岐にわたる。埋蔵文化財は他の文化財同様、文化財保護法による保護対象となっており、その規定により各種手続き、処理が行われる。

令和 6 年度の開発事業計画地域内の「埋蔵文化財の所在の有無」の照会・協議は 8 件あり、開発行為を行う際に事前に当該市町村教育委員会と連絡・調整を行うこと、工事の際に埋蔵文化財が確認された場合には速やかに当該市町村教育委員会へ連絡し指示に従うこと、と意見を提出している。

周知の埋蔵文化財包蔵地（以下包蔵地）内での民間工事に伴う 93 条及び公共事業に伴う 94 条の届出は 100 件であった。回答の内訳は、慎重工事 34 件、工事立会 48 件、発掘調査 12 件、工事立会・発掘調査 4 件、慎重工事・工事立会 2 件となっている。また、このうち米軍基地に関連する届出は 7 件あり、うち 2 件は発掘調査の回答とした。また市町村別の内訳では、那覇市 23 件、名護市 17 件、糸満市 12 件、宮古島市 9 件、宜野湾市・豊見城市 7 件、南城市・恩納村 6 件、沖縄市 3 件、西原町・竹富町 2 件、伊是名町・北谷町・読谷村・南風原町・金武町・大宜味村 1 件であった。

96 条及び 97 条に係る遺跡発見届及び通知は 5 件である。これに対する措置は、慎重工事 0 件、工事立会 1 件、発掘調査 4 件となった。

102 条に係る埋蔵物の監査及び文化財認定は 55 件であった。

107 条に係る出土文化財の譲与申請は 5 件であった。

92 条第 1 項に係る発掘調査の届出は 6 件であった。

99 条第 1 項に係る発掘調査の報告は 43 件であった。調査目的の内訳は、各種開発に伴うものが 34 件、保存目的の範囲内容確認調査 3 件で、学術研究を目的とした調査は 6 件であった。調査主体者の内訳は、那覇市文化財課が 9 件、名護市教育委員会が 6 件、北中城村教育委員会が 4 件、宜野湾市教育委員会・沖縄県立博物館・美術館が 5 件、沖縄県立埋蔵文化財センターが 4 件、金武町教育委員会が 3 件、北谷町教育委員会・沖縄市教育委員会が 2 件、石垣市教育委員会・浦添市教育委員会・大宜味村教育委員会・読谷村教育委員会・西原町教育委員会が 1 件である。

その他、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が毎年開催する文化財担当者専門研修については、研修参加は 11 件（うちオンライン参加 1 件）となった。鉱業法第 24 条の規定に基づく協議は 3 件であった。

沖縄県内における令和 6 年度の埋蔵文化財専門職員数は 122 名であり、平成 20 年度以降で一番多い数となっている（図 1）。発掘調査件数の推移では、工事届出が前年度より 4 件減の 80 件、試掘・確認調査件数は前年度と比べ 31 件の増の 133 件となっている（図 2）。発掘調査経費の合計は平成 28 年度以降、年度毎に増減を繰り返す傾向が続いている。また、米軍基地関係の発掘調査経費も同様な増減を繰り返しており、発掘調査経費の増減に米軍基地関係の調査経費が影響を与えていると考えられる。

図1 沖縄県内埋蔵文化財担当職員数の推移（単位：人）

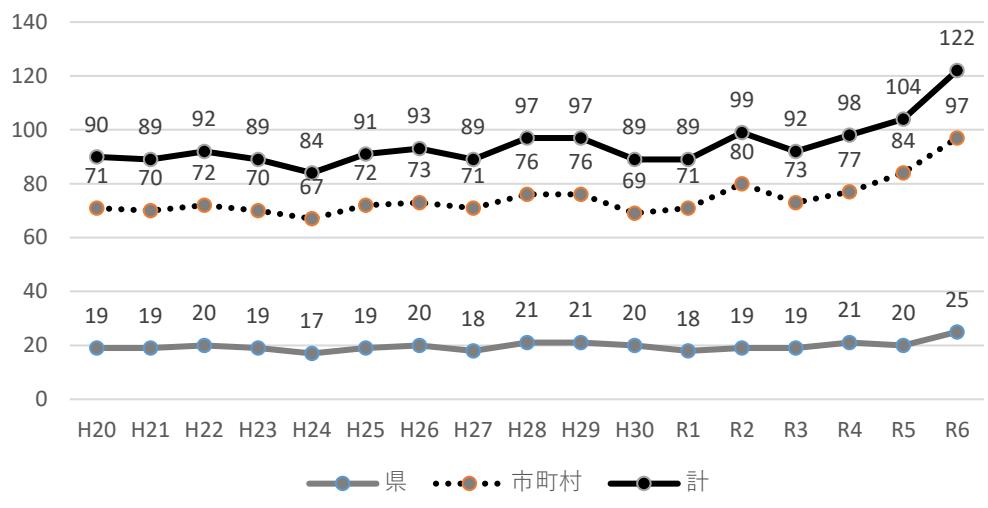


図2 沖縄県内における発掘調査件数の推移（単位：件）

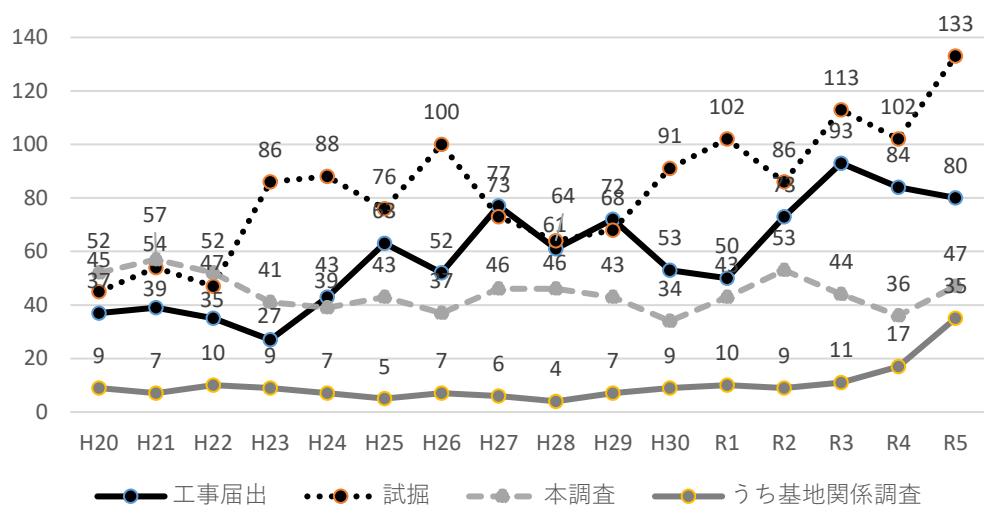
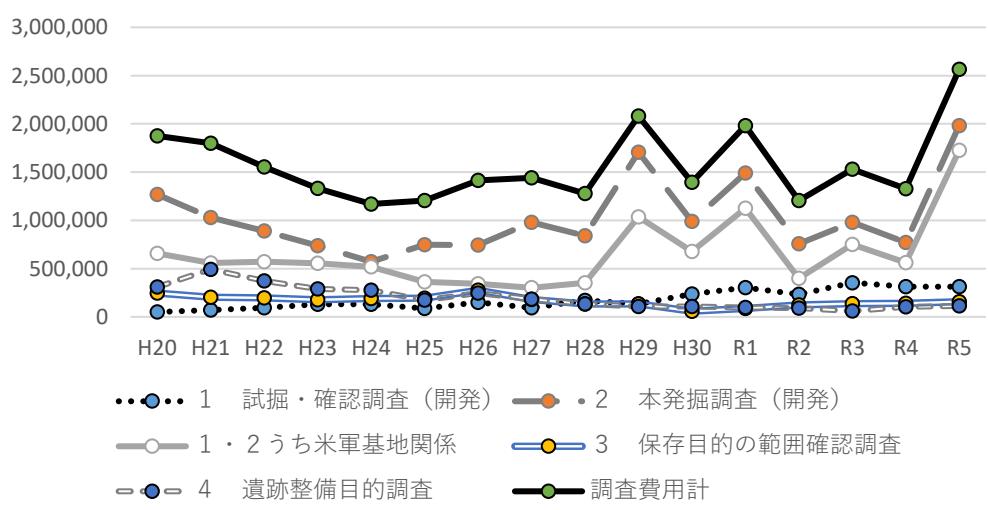


図3 沖縄県内の発掘調査経費の推移(単位：千円)



(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目No.	所在地	開発等の種別	照会者	回答内容（所在文化財）
1	南城市字大里字古堅	ホテル建設	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
2	うるま市石川東山原	資材ヤード	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
3	大宜味村	農業振興地域整備計画変更の事前協議	沖縄県農林水産部 農政経済課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
4	石垣市・東村	ホテル及び分譲ヴィラ建設	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	伊原間岩陰遺跡（石垣市）が所在。
5	今帰仁村	農業振興地域整備計画変更の事前協議	沖縄県農林水産部 農政経済課長	崎原遺跡・ティラガマ・古宇利原B遺跡が隣接。
6	久米島町	農業振興地域整備計画変更の事前協議	沖縄県農林水産部 農政経済課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。
7	伊是名村	農業振興地域整備計画変更の事前協議	沖縄県農林水産部 農政経済課長	周知の埋蔵文化財包蔵地が隣接する箇所がある。
8	金武町字金武渡慶頭原	ガス充填所、事務所	沖縄県企画部 県土・跡地利用対策課長	周知の埋蔵文化財包蔵地外。

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	垣花集落内遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
2	許田貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会 発掘調査
3	思原遺跡 思原石器出土地	名護市	沖縄防衛局長	その他開発 (材沖米軍施設)	発掘調査
4	豊見城古島A遺跡	豊見城市	株式会社飯田産業 代表取締役社長	住宅	慎重工事
5	首里寒水川村跡	那覇市	個人	その他開発 (共同住宅)	発掘調査
6	真喜屋平田遺物散布地	名護市	名護市長	学校	慎重工事
7	越來原遺跡	沖縄市	株式会社大貴 代表取締役	住宅	工事立会
8	嘉数原遺物散布地	豊見城市	株式会社飯田産業 代表取締役社長	住宅	慎重工事
9	狩俣村内遺跡	宮古島市	個人	住宅	発掘調査
10	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
11	安室散布地No.1	西原町	株式会社ローソン沖縄 代表取締役社長	その他 (ヤード)	慎重工事
12	旧海軍司令部壕	豊見城市	特定非営利活動法人 空援隊 理事長	その他開発 (遺骨収容)	工事立会
13	安富祖村内原遺跡	恩納村	個人	住宅	工事立会
14	真珠道跡	那覇市	那覇市上下水道局 上下水道事業管理者	水道	工事立会
15	南山グスク	糸満市	糸満市長	学校	発掘調査 工事立会
16	安富祖村内原遺跡	恩納村	個人	住宅	工事立会
17	安里羽佐間原古墓群	那覇市	那覇市長	公園造成	発掘調査

項目No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
18	久志貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会
19	大山東方丘陵古墓群	宜野湾市	個人	墓地	発掘調査
20	東村跡	那覇市	株式会社座波商会 代表取締役	その他建物 (ホテル)	工事立会
21	仲田貝塚	伊是名村	個人	その他工事 (店舗)	工事立会
22	第24師団第2野戦病院壕跡 (糸洲の壕)	糸満市	長野県佐久市長	遺跡整備	工事立会
23	野嵩スディバナビラ石畠道	宜野湾市	沖縄電力株式会社 送配電本部配電部 うるま支店長	その他開発 (電柱の撤去)	発掘調査
24	トウマール貝塚	竹富町	竹富町長	道路	工事立会
25	親川グシク遺跡	名護市	個人	その他の開発 (解体工事)	慎重工事
26	摩文仁ハンタ原遺跡、高摩文仁グスク、摩文仁司令部壕跡、沖縄師範健児之塔付近の壕跡(健児隊の壕)、カーデラの壕・3班の壕、フチヤマの壕	糸満市	特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会	その他の開発 (遺骨収集)	工事立会
27	高摩文仁グスク、摩文仁司令部壕跡、沖縄師範健児之塔付近の壕跡(健児隊の壕)、カーデラの壕・3班の壕、フチヤマの壕	糸満市	特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会	その他の開発 (遺骨収集)	慎重工事
28	松原ウエニヤ遺跡	宮古島市	セントラルホールディングス株式会社 代表取締役 伊藤幸子	住宅	工事立会
29	大浦崎収容所跡	名護市	沖縄防衛局長	その他の開発 (在沖米軍施設)	慎重工事
30	赤道渡呂環寒原古墓群・宜野湾並松街道	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他の開発 (格納庫の収容・整備)	工事立会
31	崎原グスク	那覇市	内閣府沖縄総合事務局那覇湾港・空港整備事務所長 金丸佳介	空港	発掘調査
32	上田古島遺跡	豊見城市	個人	住宅	工事立会
33	喜屋武貝塚	糸満市	沖縄県知事 玉城康裕	その他の開発 (磁器探査)	工事立会
34	大嶽城跡	宮古島市	航空自衛隊宮古島分屯基地司令	その他の開発 (管路敷設工事)	慎重工事
35	高摩文仁グスク、摩文仁遺跡、摩文仁司令部壕跡、沖縄師範健児之塔付近の壕跡、フチヤマの壕	糸満市	沖縄県知事 玉城康裕	その他の開発 (廃棄物調査)	工事立会
36	天界寺跡	那覇市	沖縄県知事 玉城康裕	その他建物 (首里城公園管理センター)	工事立会
37	大山前門原第三遺跡	宜野湾市	株式会社ファンスタイル 代表取締役 畑地茂	住宅	発掘調査
38	越來原遺跡	沖縄市	株式会社大貴 代表取締役 棚原忠	住宅	慎重工事
39	嘉数後原古墓群	豊見城市	株式会社フリーダム	住宅	慎重工事
40	真栄田古島遺跡	恩納村	個人	住宅	慎重工事
41	首里旧金城村跡	那覇市	個人	宅地造成	発掘調査

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
42	塩川原遺跡	北谷町	沖縄防衛局長	その他の開発 (仮設駐車場)	工事立会
43	首里寒水川村跡	那覇市	個人	その他建物 (共同住宅)	発掘調査 工事立会
44	長浜元島遺跡	宮古島市	沖縄県宮古農林水産振興セ ンター 所長 平安名盛正	その他の開発 (不発弾等事前探査)	工事立会
45	瀬名波大當原遺跡	読谷村	沖縄県知事 玉城康 裕	農業関連	発掘調査
46	旧海軍司令部壕	那覇市	厚生労働省社会・援 護局事業課事業推進 室	その他の開発 (遺骨収容)	工事立会
47	中城御殿跡(首里高校内)、櫨 園跡、大美御殿跡	那覇市	沖縄県知事 玉城康 裕	学校	工事立会
48	久志貝塚	名護市	個人	住宅	発掘調査 工事立会
49	中城御殿跡	那覇市	沖縄県知事 玉城康 裕	その他建物 (博物館)	工事立会
50	ナイクプ古墓群	那覇市	那覇市長 知念 覚	公園造成	慎重工事
51	内嶺グスク	南風原町	株式会社飯田産業 代 表取締役 築地 重彦	住宅	工事立会
52	内間村跡	西原町	有限会社東部開発 代 表取締役 米須 清貴	住宅	発掘調査
53	久志貝塚	名護市	個人	住宅	慎重工事 工事立会
54	墨屋原浜崎遺跡	名護市	名護市長 渡具知武 豊	住宅	工事立会
55	屋部貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会
56	大嶽城跡	宮古島市	株式会社ジバ・ツ キヤアイス トカンパニー キヤアイスジネス事業本 部 エンジニアリング本部 第一モ バイルエンジニアリング部 部長 新 行内 豊	その他の建物(航空 自衛隊分屯基地内 の鉄塔・局舎の撤 去)	慎重工事
57	松崎馬場跡	那覇市	沖縄県知事 玉城康裕	公園造成	工事立会
58	上原部落内遺跡	竹富町	竹富町長 前泊正人	道路、水道	慎重工事
59	住吉遺跡	那覇市	沖縄総合事務局 南部国道事務所長	その他建物(米軍施設)	工事立会
60	屋部貝塚	名護市	個人	その他建物(共同住宅)	慎重工事
61	久志貝塚	名護市	個人	住宅	慎重工事 工事立会
62	新里東元島遺跡	宮古島市	株式会社ユニマットブレ シヤス 代表取締役 高橋 洋二	道路	慎重工事
63	サマーズ御嶽遺跡	宮古島市	山根鉄構建設株式会社 代表 取締役社長 島本進一	住宅	慎重工事
64	大堂原貝塚	名護市	株式会社 智光 代表 取締役 萩原寿恵	その他の開発(古墓 整理)	工事立会
65	真珠道跡	那覇市	内閣府沖縄総合事務局 国 営沖縄記念公園事務所長 高橋涼	水道	慎重工事
66	長浜元島遺跡	宮古島市	宮古島市長 座喜味一幸	その他の開発 (造林事業)	慎重工事
67	熱田第二貝塚	恩納村	西日本電信株式会社 沖縄 支店長 古江健太郎	その他建物 (通信)	工事立会
68	比屋根遺跡	沖縄市	沖縄市長職務代理人 沖縄 市副市長 平田嗣巳	道路	工事立会
69	安和貝塚	名護市	個人	その他建物 (建替)	工事立会

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
70	上座ヌ殿遺跡・第24師団司令部壕、与座第24師団トーチカ跡	糸満市	JYMA日本青年遺骨収集団 理事長 反町佳生	その他の開発(遺骨収容)	工事立会
71	長地原の旧道跡(金武・安富祖線)	金武町	沖縄防衛局長 伊藤晋也	その他の開発(米軍基地提供施設)	発掘調査
72	真珠道跡	那覇市	沖縄県土木建築部 首里城復興課長 仲村麗子	電気	工事立会
73	ミーガー・ミーガーイー、アバタガマ、アブンマー・ウマウトゥーサー	糸満市	特定非営利活動法人JYMA日本遺骨収集団 理事長 反町佳生	その他の開発(遺骨収集)	工事立会
74	真栄里特攻艇秘匿壕群	糸満市	特定非営利活動法人空援隊 理事長 千葉英也	その他の開発(遺骨収容)	工事立会
75	チカドー壕、アガリスバナの壕、摩文仁遺跡、高摩文仁グスク、摩文仁司令部壕跡、沖縄師範健児之塔付近の壕跡(健児隊の壕)、フチヤマの壕、摩文仁ハンタ原遺跡	糸満市	個人	その他の開発(遺骨収容)	工事立会
76	具志頭殿内跡	那覇市	個人	住宅	発掘調査
77	天界寺跡	那覇市	沖縄県知事 玉城康裕(土木建築部首里城復興課)	その他建物(首里城公園管理センター)	工事立会
78	大堂原西遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
79	首里司令部壕・首里城周辺遺跡群	那覇市	沖縄県知事 玉城康裕(土木建築部首里城復興課)	その他建物(首里城公園管理センター)	慎重工事
80	高摩文仁グスク、摩文仁遺跡、摩文仁ハンタ原遺跡、摩文仁司令部壕跡、沖縄師範健児之塔付近の壕跡(健児隊の壕)、カーデラの壕・3班の壕、フチヤマの壕	糸満市	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 下村誠	住宅	工事立会
81	仲間遺跡	糸満市	SYDボランティア友の会	その他建物(首里城公園管理センター)	工事立会
82	保良前方原遺跡	宮古島市	宮古島駐屯地業務隊長	道路、住宅、宅地造成、ガス、電気、水道	慎重工事
83	首里金城村跡	那覇市	那覇市上下水道事業管理者 屋比久猛義	水道	慎重工事
84	垣花集落内遺物散布地	南城市	個人	その他建物(倉庫)	工事立会
85	西村跡	那覇市	個人	住宅	工事立会
86	旧海軍司令部壕	那覇市	特定非営利活動法人空援隊 理事長 千葉英也	その他の開発(遺骨収容)	工事立会
87	旧首里金城村跡	那覇市	個人	住宅	工事立会
88	嘉数内城原第二遺跡	宜野湾市	株式会社ガーデン代表取締役 田港朝之	住宅	慎重工事
89	仲村渠殿遺跡	南城市	個人	住宅	慎重工事
90	小谷小谷原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
91	久良波貝塚・久良波海岸遺物散布地	恩納村	個人	住宅	工事立会
92	屋比久グスク及び周辺遺物散布地	南城市	個人	住宅	工事立会

項目No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
93	掩体壕	那覇市	沖縄防衛局長	その他建物(隊舎)	工事立会
94	真志喜安座間原第一遺跡	宜野湾市	タマホーム株式会社 代表取締役社長 玉木伸弥	住宅	工事立会
95	伊良波先祖原遺物散布地(C地点)	豊見城市	一建設 代表取締役 堀口忠美	住宅	慎重工事
96	喜如嘉貝塚	大宜味村	大宜味村教育委員会 教育長 宮城政信	その他の開発(説明版)	慎重工事
97	塩屋貝塚	恩納村	個人	住宅	工事立会
98	運座原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
99	屋部貝塚	名護市	個人	住宅	慎重工事
100	真志喜製立原古墓群	宜野湾市	個人	その他の開発(墓の修復)	慎重工事

(3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
1	沖縄県那覇市安次嶺嶽野尾原430-1他	安次嶺那崎原の壕	大阪航空局長 村田有	土木工事中(掘削工事)	発掘調査
2	沖縄県那覇市松尾1丁目205-4、207-8、208-16、208-17	松尾1丁目の壕	個人	土木工事中(解体工事)	発掘調査
3	沖縄県宮古島市城辺字西里添695、696-2	東与並式の壕	沖縄県宮古農林水産振興センター 所長	土木工事中	発掘調査
4	沖縄県那覇市銘苅2丁目11-1	銘苅古墓南地区(I地区)	合同会社儀保ハウジング 代表社員	土木工事中(店舗建設)	工事立会
5	沖縄県那覇市字当間320-1、327-1	当間のレンガ遺構	沖縄防衛局長	土木工事中(解体工事)	発掘調査

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財{物件の数量}	保管場所
1	伊敷索城跡	R6.2.24～R6.2.29	久米島博物館	久米島町長	陶磁器、陶器、自然遺物ほか{1箱}	久米島博物館
2	真志喜製立原古墓群	R6.3.22	宜野湾市教育委員会	個人	蔵骨器片、金属製品、ガラス製品、本土産陶磁器など{5箱}	宜野湾市教育委員会
3	コテ遺跡	R6.2.16～R6.2.20	沖縄県立博物館・美術館	仲筋字会会長	貝類、動物骨、焼石等{1箱}	沖縄県立博物館・美術館
4	仲筋のヤマトトウンバラ	R6.2.16～R6.2.20	沖縄県立博物館・美術館	個人	人骨、貝類、土器、陶磁器類等{1箱}	沖縄県立博物館・美術館
5	喜友名下原第二遺跡	R6.3.18	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	グスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、染付、沖縄産陶器、本土産磁器、石器、滑石製石鍋、金属製品等{30箱、4袋}	宜野湾市教育委員会
6	浦添城跡	R5.8.17～R6.3.18	浦添市教育委員会	浦添市長	中国産陶磁器片、瓦片など{33箱}	浦添市教育委員会
7	島仲村跡遺跡	R5.10.19～R6.3.6	与那国町教育委員会	個人	陶磁器、瓦及び土器類、石器、自然遺物ほか{2箱}	与那国町教育委員会
8	勝連城跡	R5.10.1～R5.11.30	うるま市教育委員会	うるま市長	土器・陶磁器類など{3箱}	うるま市教育委員会

項目No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財{物件の数量}	保管場所
9	我如古陣地壕戦績	R6.3.26	宜野湾市教育委員会	個人	沖縄産陶器、本土産陶磁器、金属製品、ガラス製品など{1箱}	宜野湾市教育委員会
10	知念城跡	R6.1.31～R6.3.22	南城市教育委員会	南城市長	陶磁器、土器、獸骨等{3箱}	南城市教育委員会
11	大浦崎収容所跡	R4.11.7～R6.2.29	名護市教育委員会	沖縄防衛局長	陶磁器、缶、鉄製品、瓶 他{11箱}	名護市教育委員会
12	大工廻上与那原遺跡	R5.9.7～R6.2.16	沖縄市教育委員会	沖縄防衛局長	土器片・陶磁器片・木杭など{16箱}	沖縄市教育委員会
13	喜舎場西原近世墓群、瑞慶覧東後原近世墓群、安谷屋古馬上原近世墓群	R5.6.29～R6.3.31	北中城村教育委員会	沖縄防衛局長	厨子甕{7基}	北中城村教育委員会
14	室川貝塚	S50.1.5、7.18 S51.7.19 S52.8.23	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科	沖縄市長	人工遺物(土器、貝製品、骨製品、石器など) 自然遺物(貝類遺体、脊椎動物遺体){67箱}	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科
15	白保貝塚	R6.7.5	石垣市教育委員会	個人	土器片・陶磁器片・骨製品、石製品、金属製品、自然遺物(人骨含む){6箱}	石垣市教育委員会
16	喜友名東原ヌバタキ遺跡	R6.7.5	宜野湾市教育委員会	個人	沖縄産陶器、瓦、ガラス製品、土器など{2袋}	宜野湾市教育委員会
17	ワハルバル洞遺跡	R6.8.29～R6.8.30	沖縄県立博物館・美術館	株式会社大林組	人骨、貝類等{1箱}	沖縄県立博物館・美術館
18	石川テラアブ洞遺跡	R6.8.31	沖縄県立博物館・美術館	個人	人骨、土器等{2箱}	沖縄県立博物館・美術館
19	野嵩スディバナビラ石畳道	R6.9.27	宜野湾市教育委員会	宜野湾市長	沖縄産陶器{2点}	宜野湾市教育委員会
20	嘉数黒数原古墓群 宜野湾古集落	R6.9.25	宜野湾市教育委員会	沖縄防衛局長	沖縄産陶器、金属製品(キセル){2点}	宜野湾市教育委員会
21	普天満宮洞穴遺跡	R6.8.18	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科	普天満宮	人工遺物(土器、貝製品、陶器、瓦など) 自然遺物(貝類遺体、脊椎動物遺体、炭化物){20箱}	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科
22	阿波連浦貝塚	S61.8.18	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科	渡嘉敷村長	土器、自然遺物ほか{人工遺物89箱、自然遺物84箱}	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科
23	阿波連浦貝塚	S62.8.31	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科	渡嘉敷村長	土器、自然遺物ほか{人工遺物88箱、自然遺物83箱}	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科
24	兼久中原遺跡	R5.11.15～R5.12.17	嘉手納町教育委員会	沖縄防衛局長	陶磁器片、瓦、貝等{1箱}	嘉手納町教育委員会
25	八重島貝塚	R5.9.6～R5.9.24	沖縄市教育委員会	嘉間良自治会会長 個人	土器・石器・骨製品など{10箱}	沖縄市教育委員会
26	中城御殿跡	R6.10.8～R6.10.24	沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄県知事	陶磁器・瓦等{2箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
27	国頭郡伊江村西江前263-3	R6.8.29～R6.9.23	伊江村教育委員会	個人	戦争遺物(水筒、鉄兜、ベルト金具、ボタン、薬瓶、機械類等){2箱}	伊江村教育委員会
28	勢理客中道洞穴遺跡	R5.5.18～R5.10.14	今帰仁村教育委員会	個人	人骨片・陶磁器片・土器片等{7箱}	今帰仁村教育委員会
29	松崎馬場跡	R6.7.2～R6.12.16	沖縄県立埋蔵文化財センター	沖縄県知事	陶磁器・瓦等{36箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
30	城間第二洞穴遺跡	R5.9.19～R6.10.31	浦添市教育委員会	戸田建設株式会社	土器、石器、貝製品、骨製品、貝殻、獸魚骨、人骨、陶磁器など{635箱}	浦添市教育委員会
31	屋良グスク	R6.7.2～R6.11.29	嘉手納町教育委員会	宇屋良共栄会	土器片、石器、石材、陶磁器片、獸骨、サンブル土{2箱}	嘉手納町教育委員会
32	クルカーガマ遺跡	R6.12.17	沖縄県立博物館・美術館	伊計自治会会長	人骨、土器等{2箱}	沖縄県立博物館・美術館
33	伊敷索城跡	R6.12.23～R6.12.28	久米島博物館	久米島町長	陶磁器ほか{1箱}	久米島博物館
34	大山前門原第三遺跡	R6.12.26	宜野湾市教育委員会	株式会社沖縄銀行	沖縄産陶器、本土産磁器、瓦、土器など{9箱}	宜野湾市教育委員会

項目No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財{物件の数量}	保管場所
35	根謝銘城跡	R6.12.3～R7.1.8	大宜味村教育委員会	大宜味村長	土器、陶器、磁器、石器、獸魚骨、貝、鉄製品等{1箱}	大宜味村教育委員会
36	史跡浦添城跡内	R7.1.6～R7.2.28	浦添市教育委員会	沖縄県知事	陶磁器、瓦、金属製品、動物遺体など	浦添市教育委員会
37	久米島町字兼城150番地、175番地	R7.2.10～R7.2.15	琉球大学 国際地域創造学部	個人	陶磁器ほか{1箱}	琉球大学 国際地域創造学部
38	仲筋のヤマトビス トウトウンバラ	R7.2.20	沖縄県立博物館・美術館	個人	土器、人骨、動物骨、貝類等{2箱}	沖縄県立博物館・美術館
39	コテ遺跡	R7.2.20	沖縄県立博物館・美術館	仲筋字会長	人骨、貝類等{1箱}	沖縄県立博物館・美術館
40	首里寒水川村跡	R6.3.8	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産青磁、褐釉陶器、瓦、石製品、獸骨等{1箱}	那覇市教育委員会
41	西村跡	R6.4.25	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産青磁・白磁、褐釉陶器、錢貨、瓦、獸骨等{4箱}	那覇市教育委員会
42	住吉遺跡	R6.4.19	那覇市教育委員会教育長	南部国道事務所	中国産青花、本土産近代磁器等{1箱}	那覇市教育委員会
43	具志頭殿内跡	R6.1.19	那覇市教育委員会教育長	民間会社	沖縄産陶器・中国産磁器・貝など{29箱}	那覇市教育委員会
44	首里寒水川村跡	R6.6.19	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産磁器、沖縄産陶器、瓦等{1箱}	那覇市教育委員会
45	松尾一丁目の壕	R6.6.21	那覇市教育委員会教育長	個人	日本産磁器、煙管、厨子甕、骨など{2箱}	那覇市教育委員会
46	首里旧大中村跡	R6.7.31	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産青磁・青花、褐釉陶器、瓦、獸骨等{1箱}	那覇市教育委員会
47	崎原グスク	R6.10.3	那覇市教育委員会教育長	那覇港湾・空港整備事務所	中国産陶磁器、沖縄産陶器、瓦、貝など{1箱}	那覇市教育委員会
48	伊江殿内庭園	R6.9.30	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産陶磁器、瓦{2箱}	那覇市教育委員会
49	首里寒水川村跡	R6.11.21	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産青磁、沖縄産陶器、瓦等{1箱}	那覇市教育委員会
50	三重グスク	R6.11.29	那覇市教育委員会教育長	沖縄総合事務局	本土産磁器、壇、瓦等{1箱}	那覇市教育委員会
51	銘苅古墓群	R6.12.4	那覇市教育委員会教育長	民間会社	陶磁、瓶、厨子甕など{2箱}	那覇市教育委員会
52	安里羽佐間原古墓群	R6.11.31	那覇市教育委員会教育長	那覇市	陶器、磁器など{12箱}	那覇市教育委員会
53	首里旧金城村跡	R6.10.31	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産陶磁器、沖縄産陶器{10点}	那覇市教育委員会
54	具志頭殿内跡	R7.2.14	那覇市教育委員会教育長	個人	陶器、磁器など{1箱}	那覇市教育委員会
55	墓地小前古墓	R7.2.28	那覇市教育委員会教育長	個人	沖縄産無釉陶器(厨子甕)、人骨等{11箱}	那覇市教育委員会

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財{物件の数量}	保管場所
1	前田・経塚近世墓群	R5.9.12～R6.1.19	浦添市教育委員会教育長 銘苅健	浦添市長 松本哲治	藏骨器18点、金属製品1点、藏骨器片、その他の陶磁器、人骨など{45箱}	浦添市教育委員会
2	伊江御殿別邸庭園	H26.11.4～H26.11.28	那覇市長 城間幹子	那覇市長 城間幹子	鉄製品など 遺物収納用コンテナ{7箱}	那覇市教育委員会
3	史跡 勝連城跡	R5.10.1～R5.11.30	うるま市教育委員会教育長 嘉手刈弘美	うるま市長 中村正人	土器・陶磁器類など{3箱}	うるま市教育委員会
4	室川貝塚	S50.1.5、7.18 S51.7.19	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科准教授 新里貴之	沖縄市長 桑江朝千夫	土器、貝製品、骨製品、石器など{67箱}	沖縄国際大学
5	阿波連浦貝塚	S61.8.18 S62.8.31	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科准教授 新里貴之	渡嘉敷村長 神里敏明	土器、自然遺物ほか{344箱}	沖縄国際大学

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目No.	遺跡名	所在市町村	調査主体者・担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格
1	普天間洞穴遺跡	宜野湾市	沖縄国際大学総合文化学部 社会文化学科 新里貴之	学術研究	旧石器、縄文、中世(グスク)、近世
2	カジヤー ※鍛冶屋	宮古島市	武蔵大学人文学部 教授 石井龍太	学術研究	中世(グスク)、近世
3	ツヅピスキアブ 洞窟南洞口	宮古島市	国立民族学博物館 小野林太郎	学術研究	旧石器、近世
4	白保D洞窟(白保カラダキ洞遺跡)	石垣市	国立歴史民俗博物館	学術研究	弥生、中世(グスク)、近世
5	沖縄県島尻郡久米島町字宇江城城原2147-1、2147-12	久米島町	国立大学法人琉球大学国際地域創造学部 教授 後藤雅彦	学術研究	その他(不明)
6	沖縄県島尻郡久米島町字兼城金城2-1・7-1、175番地	久米島町	国立大学法人琉球大学国際地域創造学部 講師 主税英徳	学術研究	その他(不明)

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目No.	遺跡名	所在市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格
1	白保貝塚	石垣市	石垣市教育委員会	金城由美	住宅	中世(グスク)近世
2	首里寒水川村跡	那覇市	那覇市教育委員会	天久瑞香	その他建物(共同住宅)	中世(グスク)近世
3	美里原遺跡	金武町	金武町教育委員会	安座間充	道路	縄文、弥生、近世
4	白比川原遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	米須菜摘美	その他開発(支障除去)	中世(グスク)、近世、その他(近・現代)
5	大堂原遺跡 大堂原の製糖工場跡	金武町	金武町教育委員会	安座間充	その他開発(米軍基地)	奈良、平安 その他(近代)
6	下地原洞穴遺跡	久米島町	沖縄県立博物館・美術館	澤浦亮平	学術研究	旧石器 中世(グスク)
7	松尾一丁目の壕	那覇市	那覇市長	山道峻	宅地造成	その他(近代)
8	大山東方丘陵古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	来間千明	墓地	近世 その他(近代)
9	喜舎場西原近世墓群	北中城村	北中城村	小橋川剛	墓地	近世
10	松崎馬場跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	羽方誠	その他(公園)	中世(グスク)、近世、その他(近代)
11	野嵩スディバナ ビラ石疊道	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	保存目的の範囲内容確認調査	近世
12	八重島貝塚	沖縄市	沖縄市教育委員会	繩田雅重	宅地造成	縄文
13	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	佐渡山理沙	その他建物(冷凍施設、植物工場)	縄文、弥生、古墳、奈良、平安中世(グスク)
14	喜友名下原第一遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	末吉飛鳥	その他開発(不発弾探査)	その他(近代)
15	三重グスク	那覇市	那覇市文化財課	城間宏次朗	保存目的の範囲内容確認調査	中世(グスク)、近世
16	美里原遺跡	金武町	金武町教育委員会	岸本卓己	道路	縄文、弥生、近世
17	久志貝塚	名護市	名護市教育委員会	横手伸太郎	住宅	弥生、古墳、奈良、平安、中世(グスク)

項目No.	遺跡名	所在市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格
18	済井出長佐久貝塚	名護市	名護市教育委員会	真栄田義人	その他建物(ホテル)	弥生、古墳、奈良、平安
19	大堂原貝塚	名護市	名護市教育委員会	真栄田義人	その他建物(ホテル)	縄文、弥生、古墳、奈良、平安
20	崎原グスク	那霸市	那霸市教育委員会	山道峻	空港	中世(グスク)、その他(近代)
21	石川テラアブ洞遺跡	本部町	沖縄県立博物館・美術館	山崎真治	学術研究	縄文
22	涌田村跡 涌田古窯跡	那霸市	沖縄県立埋蔵文化財センター	大堀皓平、馬上理恵子、金城翼	その他建物	近世、その他(近代)
23	首里旧金城村跡	那霸市	那霸市文化財課	天久瑞香	宅地造成	近世、その他(近代)
24	大山前門原第三遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	来間千明	住宅	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世(グスク)、近世
25	中城御殿跡	那霸市	沖縄県立埋蔵文化財センター	羽方誠 花城媛子	道路	近世、その他(近代)
26	安里羽佐間原古墓群	那霸市	那霸市文化財課	山道峻	公園造成	近世、その他(近代)
27	首里寒水川村跡	那霸市	那霸市文化財課	天久瑞香	その他建物(共同住宅)	中世(グスク)、近世
28	正徳原古墓群	北谷町	北谷町教育委員会	山城安生	その他建物(基地施設)	近世、その他(近代)
29	越來グスク	沖縄市	沖縄市教育委員会(沖縄市立郷土博物館)	繩田雅重	宅地造成	中世(グスク)
30	沢崎イリヌカ一	浦添市	浦添市教育委員会	仁王浩司	遺跡整備	近世
31	根路銘城跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合 龍己	保存目的の範囲内容確認調査	中世(グスク)
32	サキタリ洞遺跡	南城市	里井洋一(沖縄県立博物館・美術館館長)	澤浦亮平	学術研究	旧石器・縄文・弥生・中世(グスク)
33	瀬名波大當原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	上地 克哉	農業関連	中世(グスク)
34	クルカーガマ遺跡	うるま市	沖縄県立博物館・美術館館長	山崎真治	学術研究	縄文・弥生
35	墓地小前古墓	那霸市	那霸市文化財課	城間宏次郎	その他建物(交番)	その他(近代)
36	思原遺跡	名護市	名護市教育委員会	真栄田義人	その他の開発(在日米軍施設)	弥生、古墳、奈良、平安、近世、その他(現代)
37	具志頭殿内跡	那霸市	那霸市文化財課	吉田健太	住宅	中世(グスク) 近世 その他(近代)
38	デーグシク遺跡	名護市	名護市教育委員会	横手伸太郎	道路	中世(グスク)
39	内間村跡	西原町	西原町教育委員会	山田浩久	住宅	中世(グスク) 近世
40	大山岳之佐久原第一遺跡	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	廣岡凌、国吉新織	その他の開発(跡地利用)	縄文、中世(グスク)、近世、その他(近代)
41	神山同原遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤 圭	その他開発(跡地利用)	近世 その他(近代)
42	ヤマトピストウツンバラ遺跡	多良間村	沖縄県立博物館・美術館	山崎真治	学術研究	近世
43	コテ遺跡	多良間村	沖縄県立博物館・美術館	山崎真治	学術研究	その他(無土器文化期)

(8) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目 No.	研修名	期間	参加者	所属
1	文化財担当者専門研修 「文化財石垣保存整備課程」※オンライン	令和6年6月12日～ 6月14日	大城 一成	糸満市教育委員会
2	文化財担当者専門研修 「自然科学分析外注課程」	令和6年9月25日～ 9月27日	横尾 昌樹	うるま市教育委員会
3	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和6年12月2日～ 12月6日	屋比久 大翔	沖縄県立埋蔵文化財センター
4	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和6年12月2日～ 12月6日	高原 彬浩	糸満市教育委員会
5	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和6年12月2日～ 12月6日	古瀬 岳洋	竹富町教育委員会
6	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和6年12月2日～ 12月6日	横手 伸太郎	名護市
7	文化財担当者専門研修 「報告書デジタル作成課程」	令和6年12月9日～ 12月13日	屋比久 大翔	沖縄県立埋蔵文化財センター
8	文化財担当者専門研修 「報告書デジタル作成課程」	令和6年12月9日～ 12月13日	山道 峻	那覇市役所
9	文化財担当者専門研修 「報告書デジタル作成課程」	令和6年12月9日～ 12月13日	高原 彬浩	糸満市教育委員会
10	文化財担当者専門研修 「報告書デジタル作成課程」	令和6年12月9日～ 12月13日	古瀬 岳洋	竹富町教育委員会
11	文化財担当者専門研修 「文化財三次元計測課程」	令和7年1月21日～ 1月24日	成瀬 満紀人	与那国町教育委員会

(9) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項目 No.	出願地	出願番号	鉱種名	出願種類	回答内容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	糸満市	5 沖経出採般第3号	石灰岩	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
2	宮古島市	5 沖経出採般第7号	石灰岩	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
3	宮古島市	4 沖経出採般第1号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財包 藏地	地域を定めず指定された天然記念物